

塾や予備校で、なぜ刺傷事件が起きるのか？

○久留米市内の景気の悪さで、次々と学習塾が潰れております。この前も、210 台の駐車スペースを持つ商業施設が潰れました。リーマンショック前のとても景気が良い時期でさえ、有効求人倍率が 0.6 倍の土地ですから、1 倍以上の他の地域のように学習塾をはじめとする商業施設は成り立ちません。何年も赤字が続くのを覚悟の上で、来るべきでしょう。

○だいぶ前ですが、ある大手の塾の模試結果が手に入り、久留米で働く塾講師との協議となりました。内容は、福岡市の校舎や北九州市の校舎などの平均点などが書いてあり、久留米校舎の平均点が一番下だったのです。そこで、彼らは「久留米市の教育水準が低い」という結論を出してあったのですが、違うと思うのですね。実際は、田舎の校舎で良い講師が育ってきたら、福岡市や北九州市などの競争が激しい都市部の校舎へ移動させます。そして、田舎の優秀な子供たちには、福岡市や北九州市の校舎に通うように指導します。よって、一流の講師で固めている福岡市や北九州市の校舎と平均点競争をしたら、久留米などの田舎は負けてしまうのです。福岡市や北九州市に一番の講師を集めるために、久留米などの校舎が潰れて行くのは仕方ない事なのです。

○久留米などの田舎に、優秀な講師を送ると、ドル箱と呼ばれている福岡市や北九州市などの校舎が弱くなり、どこの塾も一流の講師で固めていますから、すぐに潰されます。ですから、久留米などの田舎に、良い先生を送れない事情があると思います。もう一つは、ドル箱と呼ばれているように、田舎と違って都市部の保護者は高額な月謝を払われます。同じ系列の塾なのに、月謝の額がバラバラなのもそのためです。

○塾選びで一番気をつけなければいけないのは、「授業料の年間一括払い」です。これを悪用する塾の教室長、校舎長がいます。私も昔働いていた職場で、やられた事があります。何に気をつけるべきかと言いますと、年間授業料を払ってから、校舎を移動するように指導される場合です。自分の教室、あるいは校舎を任されている人物であれば、いくら売上が欲しくても、性質の悪い生徒は門前払いするものです。それなのに、色々な塾、予備校などでも刺傷事件などが起きてしまうのですが、なぜでしょうか？それは、校舎・教室を移動させられている生徒が起こしているケースが目立ちます。つまり、金だけ取って、他の校舎・教室に押し付けるのです。これは、管理職がちゃんと教室長、校舎長を管理していないから起きる事です。久留米自習室が月謝にこだわる理由の一つがそれです。私もたいた経営者というわけではありませんから。授業料の年間一括払いの恐ろしさは、現場で長くやっていたから、よく知っています。このシステムにより、授業料だけを取れる校舎長、教室長は、ノーリスクです。そして、押し付けるのはだいたい近隣の同じ系列の校舎・教室ですから、いわばライバルです。ライバルと言える同じ会社の他の校舎長、教室長の足も引っ張れるから、悪人にとって年間一括払いは素晴らしいシステムです。これで、刺傷事件などが起きるわけですから、自分のライバルは皆潰れて行き、自分だけが安泰な出世コースに乗れるわけです。ここを管理できない塾や予備校の経営者や経営幹部に、全ての責任があるとしか言えません。経営者や経営幹部が知らない現場の実態です。